2020年度第6回光能動部品標準化部会資料

2021年2月25日

渋谷

**SOAに関する文書の光増幅器及びダイナミックモジュール標準化部会における審議結果**

2月10日に今年度第4回光増幅器及びダイナミックモジュール標準化部会（SC86C/WG3国内委員会機能を含む）が開催され、SOAに関する文書の進め方について審議した。結果を報告する。

1. JIS C 6122-1-1改正

IEC 61290-1-1, Ed.4が発行されたため、対応するJISの改正を行う。SOAの技術情報を記載するIEC TR 61292-9の内容を附属書JAとして記載する。記載する情報は、今後改訂するIEC TR 61292-9を基にする。JIS公募時期は、3月の中間会合でのIEC TR 61292-9の改訂審議結果を考慮して判断する。2021C～2022A区分が想定される。

1. JIS TR C 0060の期限切れ対応

IEC TR 61292-9:2013の和訳であるTR C 0060が4月30日で期限切れになる。METIからの示唆があり、期限切れを受け入れ、延長を要請しないことが合意された。JIS C 6122-1-1の附属書JAに情報を盛り込んだJISの公示までほぼ2年の空白期間があるが、IEC TR 61292-9があるため問題ないと考えた。

1. IEC TR 61292-9の改訂方針

光能動部品標準化部会及びSC86C/WG4国内委員会から提案された改訂方針及び改訂内容が説明され、了解された。

1. IEC 61291-2の改訂方針

SOAの定義が、IEC TR 61292-3:2020と異なることが説明され、IEC TR 61292-3:2020の定義に変更することが合意された。また、gain rippleの測定方法として、IEC 61290-1-1, Ed.4を参照する改訂方針が説明され、了解された。用語“SOA”は、“chip”及び“module”の両者を含むことから、IEC 61291-2は“SOA module”の用語に統一するように示唆があった。

以　上